

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	図画工作
第1推薦	9 開隆堂
第2推薦	116 日文

(図画工作) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
9 開隆堂	観点1	・各題材の学習の3つの目標が児童の学習を促す表現になっている。キャラクターのコメントや児童の自己評価につながる振り返りの視点は、特に重点的とする目標に対応している。基礎的な表現技法等が具体的に写真や文で示されている。
	観点2	・活動のきっかけとなる文を示している。表現と鑑賞の関連が図られ、身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形が鑑賞の対象として、低中学年で2～3、高学年では6～10紹介されている。
	観点3	・学年の項目において題材を5項目に分類して配列してある。育てたい資質能力を軸に内容が構成されている。作品等にはサイズを明記している。1ページ題材を低学年では全題材中ほぼ半分、高学年では2つずつ掲載しており、内容に軽重がつけられている。
	観点4	・「学習のめあて」の3つの目標が「～しよう」という形で、児童に働きかける言葉で記述してある。教科書の最下部に、学習後の振り返りの視点と、他教科との関連が、枠付きで明示されている。
	観点5	・友達との関わり・対話を促す文が示されている。発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されている（共同活動の1枚の写真が概して大きい）。
116 日文	観点1	・各題材の学習で育てる三つの資質・能力が常体で示されている。活動後に、「学びに向かう力、人間性等」に関わる振り返りを促す記述が示され、学びが次の学習や生活に活かされるようにしている。
	観点2	・活動のきっかけとなる文を示している。表現と鑑賞の関連が図られ、身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形が鑑賞の対象として、どの学年でも4～5種類程度、紹介されている。
	観点3	・学年の項目において題材を5項目に分類して配列してある。どの題材においても、三つの資質能力を同じように育てていくという考えで内容が構成されている。作品等にはサイズを明記している。どの学年も、すべての題材が見開きになっている。
	観点4	・「学習のめあて」の3つの目標が、「～する」という表記の形で記述してある。教科書の最下部に、安全に係る留意点と片付けのポイント、学習に使う道具が明示されている。
	観点5	・友達との関わり・対話を促す文が示されている。発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されている（園児・中学生と活動する写真も掲載）。